

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人日本スポーツ振興センター施設整備費 (復興関連事業)		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	スポーツ・青少年企画課		スポーツ・青少年企画課長 今里 謙		
会計区分	一般会計		施策名	XII-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年8月11日改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	東日本大震災により被災した国立霞ヶ丘競技場の建物等の被害を受けた箇所の修復を早急に実施することにより、適切な維持保全を行うとともに施設利用者の安全を確保するものである。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	独立行政法人日本スポーツ振興センター施設整備費補助金による補助事業として、東日本大震災により被災した国立霞ヶ丘競技場について、外部外廻りエキスパンジョイント樋更新工事、室内水泳場内壁・梁補修工事等を実施する(補助率:定額)。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算			0	0		
		補正予算			330			
		繰越し等			△ 323	323		
		計			7	323		
	執行額			7				
執行率(%)			100.0%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	災害復旧施設件数	成果実績	災害復旧施設件数				0	1
		達成度	%				0	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	災害復旧に係る工事件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	1	-
単当たり コスト	※平成23年度中は、設計のみ行ったため、単 位当たりコストの算出は出来ない。		算出根拠			-		
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	施設整備費補助金			平成23年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は、東日本大震災により被災した国立霞ヶ丘競技場の建物等の復旧を行うものであり、多数の利用者の安全を確保するものであることから、優先度が高い事業となっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	工事契約を行う際には、一般競争入札などを実施しており、その妥当性や競争性を確保し、適正な経費の執行に努めているところ。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>本事業は、独立行政法人日本スポーツ振興センターが設置するスポーツ施設の整備に対する補助事業として実施しており、復旧後は多くの利用者が利用するなど実効性の高い事業となっている。</p> <p>なお、本工事は、当初見込んでいた修繕箇所に係る亀裂等の被害が拡大していることから、再度検証を行ったため、実施計画の策定に遅れが生じた。また、実施計画策定の遅れに伴い、工事の実施についても、施設の予約状況が集中する7月～9月にかかることとなり、予定通りの工事を行うことが難しい状況となったことから遅れが生じた。</p>
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		<p>本事業により、東日本大震災により被災した国立霞ヶ丘競技場の建物等の復旧を図り、利用者の安全確保を図っているところ。また、文部科学省と独立行政法人日本スポーツ振興センターとの間で電話連絡や関係書類の提出などを通じて、事業内容や進捗状況の確認などを行っており、適正な執行に努めているところ。</p> <p>今後も、早期復旧を目指し、予算を適切に執行すべきである。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
	-	<p>この事業は、東日本大震災により被災した国立霞ヶ丘競技場の建物等の被害を受けた箇所の修復を早急に実施することにより、適切な維持保全を行うとともに、施設利用者の安全を確保することを目的とした事業であるが、予算の大部分を平成24年度に繰り越しており、当該予算が東日本大震災からの復旧復興のための経費であることに鑑み、引き続き早期の執行に努めるべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>○東日本大震災からの復興の基本方針について：http://www.reconstruction.go.jp/topics/110811kaitei.pdf</p> <p>※該当箇所 P13(2)③(i)</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	復興-0046

※平成23年度実績を記入

文部科学省
7百万円

独立行政法人日本スポーツ振興センター施設整備費補助金による補助事業として、東日本大震災により被災した国立霞ヶ丘競技場について、外部外廻りエキスパンジョイント樋更新工事、室内水泳場内壁・梁補修工事等を実施する(補助率:定額).

↓

【補助】
(独)日本スポーツ振興センター
7百万円

【A】国立霞ヶ丘競技場地震損害緊急修繕及び安全対策工事(設計業務)
株式会社久米設計
7百万円

国立霞ヶ丘競技場地震損害緊急修繕及び安全対策工事に係る設計業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

A.株式会社久米設計			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設計費	国立霞ヶ丘競技場地震損害緊急修繕 及び安全対策工事(設計業務)	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.国立霞ヶ丘競技場地震損害緊急修繕及び安全対策工事(設計業務)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社久米設計	設計業務	7	1	97.2
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※補助事業